

基本構想答申案に係るパブリックコメントの実施状況等について

1 パブリックコメント実施期間

平成23年11月11日(金)～12月10日(土)

2 公表方法等

(1) 答申案の公表方法

- ・ 広報すぎなみ11月11日特集号、区ホームページ
- ・ 答申案の閲覧(企画課、区政資料室、区民事務所・分室、駅前事務所、図書館)

(2) 説明会の開催

日 時	場 所	参加者
11月19日(土) 午前 10:00～	区役所	38人
11月20日(日) 午後 2:00～	高井戸小学校	18人
11月22日(火) 午後 7:00～	西荻地域区民センター	37人

3 意見提出実績

合計125件(個人120件、団体5件)、延べ353項目

(提出方法)

- ・ 郵送・持参 28件
- ・ FAX 74件
- ・ 電子掲示板 9件
- ・ メール 14件

4 基本構想答申案の修正について(案)

- ・ 別紙1参照

5 提出された意見の概要とそれに対する調整部会の検討結果

- ・ 別紙2参照

基本構想答申案の修正について（案）

1 パブリックコメントに伴う修正【4箇所】

修正箇所	答申案	修正案	修正理由
2ページ (2)変化する東京と杉並のまちづくり	・これまで杉並区は、暮らしやすい良好な住宅都市として発展してきました。しかし、今、周辺地域では、中央線三鷹～立川間の高架化、小田急線や西武池袋線の高架化や地下鉄乗り入れ、中野駅周辺での大規模な拠点整備など様々なまちづくりが進められています。 <u>このままでは、都市の魅力や活力という面で、杉並区が相対的に埋没していくことが懸念されます。</u>	・これまで杉並区は、暮らしやすい良好な住宅都市として発展してきました。しかし、今、周辺地域では、中央線三鷹～立川間の高架化、小田急線や西武池袋線の高架化や地下鉄乗り入れ、中野駅周辺での大規模な拠点整備など様々なまちづくりが進められています。 <u>杉並区においても、時代の変化に対応して、都市の魅力や活力を高めていく必要があります。</u>	将来に向け、プラス志向の表現に修正
8ページ 10年後の姿	・施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインによるまちづくりが進み、人々が快適にまちを楽しんでいる。	・施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン(あらかじめ、誰もが利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方)によるまちづくりが進み、人々が快適にまちを楽しんでいる。	括弧書きでわかりやすく用語を説明
12ページ (1)健康でいきいきと暮らせる仕組みを整える	・食の安全確保や感染症予防などの健康危機管理対策を進めます。	・食の安全確保や感染症予防などの健康危機管理対策を進めます。 <u>また、放射能対策にも取り組みます。</u>	放射能対策への取り組みを追記
15ページ (4)多様な文化の共生社会と生涯学習社会を築く	・人々の豊かな生活と活動の基礎となる平和を守り、人権が尊重される社会の実現に向けた取り組みを推進します。また、男女共同参画の観点から、 <u>ワーク・ライフ・バランスに配慮した社会環境づくりを進めます。</u>	・人々の豊かな生活と活動の基礎となる平和を守り、人権が尊重される社会の実現に向けた取り組みを推進します。また、男女共同参画の観点から、 <u>ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮した社会環境づくりを進めます。</u>	括弧書きでわかりやすく用語を説明

2 その他の修正【3箇所】

修正箇所	答申案	修正案	修正理由
2ページ (1)少子化・高齢化の一層の進展	・今後は急速な生産年齢人口の減少が見込まれ、また、平成37年(2025年)にはいわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になるなど、区民の年齢構成が変化していきます。	・今後は急速な生産年齢人口の減少が見込まれ、また、平成37年(2025年)にはいわゆる団塊の世代が75歳以上になるなど、区民の年齢構成が変化していきます。	端的な表現とするため、「の後期高齢者」を削除
9ページ (4)住環境と調和した土地利用を図る	(4)住環境と調和した土地利用を図る ・現在の住宅を中心とした市街地の特色を守り発展させながら、豊かな生活を実感できる街並みや住環境を創出するとともに、住環境と調和した暮らしやすく魅力的な土地利用を図ります。	(4)住環境と調和した <u>まちづくりを進める</u> ・現在の住宅を中心とした市街地の特色を守り発展させながら、豊かな生活を実感できる街並みや住環境を創出するとともに、住環境と調和した暮らしやすく魅力的なまちづくりを進めます。	目標に即して、よりわかりやすい表現に修正
14ページ (1)子どもの育ちと子育てを応援する	・子どもを育てるすべての家庭や保護者が、孤立せずに安心して子育てできるよう、悩みを日常的に相談したり話しあえる場を設けるなど、 <u>地域で子育て・子育てを支えあう仕組みづくりを進めます。</u>	・子どもを育てるすべての家庭や保護者が、孤立せずに安心して子育てできるよう、悩みを日常的に相談したり話しあえる場を設けるなど、 <u>子どもの育ちと子育てを地域で支えあう仕組みづくりを進めます。</u>	よりわかりやすい表現に修正

基本構想答申案に係るパブリックコメントで提出された意見の概要

項目	意見概要(要旨)	調整部会の検討結果
全般的事項		
<p>答申案全体について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法律上の策定義務がなくなったのだから、無駄な経費や労力をかけて策定する必要はない。 ・法律上の策定義務が廃止された中で、基本構想を策定するかどうかの根本的議論が必要。 ・新たな基本構想を策定する意義が理解できない。 	<p>答申案の内容に関わらないものであり、意見として何う扱いとする。</p> <p>なお、区では、昨年の第4回区議会定例会で自治基本条例を改正し、区政運営の指針である基本構想を議会の議決を経て策定する旨を、区独自に定めている。</p>
<p>・答申案の内容には異論なし。早期に具体的準備を。また、住民目線での推進を。<他、同趣旨1件></p> <p>・10年というスパンは決して長くない。時代の変化に迅速に対応して構想実現に取り組んでほしい。</p>		<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
<p>・答申案の内容には具体性が欠如しており、説得力がない。<他、同趣旨5件></p> <p>・基本構想はビジョンであり、具体的な取組みを記述すべきではない。<他、同趣旨1件></p> <p>・「区民と共に」などの美辞麗句を並べ立てているだけで、区民の暮らし・福祉を守るという区の責任・役割が見えない。区の責任で社会保障制度等の充実を。<他、同趣旨16件></p> <p>・質の高い魅力ある杉並らしい住宅都市づくりのために今何が必要かをより鮮明にすべき。<他、同趣旨1件></p> <p>・これまでの取組みの経過と結果を示して改善の方向を示すとともに、新たな取組みについてはその必要性をもっと明確にすべき。<他、同趣旨1件></p> <p>・基本構想の実現にどの位の予算が必要かを示さないと、絵に描いた餅になる。</p> <p>・もっと福祉や教育に予算を使ってほしい。<他、同趣旨1件></p> <p>・税金を福祉や子育てに具体的にどう使うのか、責任ある文面がどこにも見当たらない。</p> <p>・「戦略」という語句に違和感を覚える。長期的とか政策的などの表現にすべき。</p> <p>・「区民」には外国籍の人も含むことを明らかにすべき。<他、同趣旨1件></p>		<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の問題などは計画レベルの話であり、基本構想で取り扱うべきものではない。 ・行政としての責任を果たすことを大前提としつつも、すべて区だけでサービスを提供していける時代ではない。その意味で、「区民と共に」取り組む協働の考え方が重要となる。 ・「戦略的・重点的な取組み」という表現を、特に修正する必要はない。 ・「区民」の概念については、自治基本条例で外国人も含むものとされており、これを確認しておけばよい。
<p>答申案に対するパブリックコメント・説明会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの期間が短すぎる。<他、同趣旨3件> ・本音の意見を聴くためには、無記名で意見募集すべき。 ・答申案への理解を深めるためには、やさしく解説したものを用意するなど工夫すべき。 ・広報だけの周知では不十分で、説明会も回数が少なすぎる。<他、同趣旨2件> ・答申案について、もっと住民と話し合うことが必要。 	<p>策定手続きに関わるものであり、意見として何う扱いとする。</p>
<p>総合計画(案)・実行計画(案)に対する区のパブコメ実施について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想が策定される前に、総合計画(案)・実行計画(案)のパブリックコメントが行われているのは疑問。<他、同趣旨9件> 	
はじめに 以下は、「答申案」の目次に沿って整理		
はじめに	(特段の意見なし)	特段の意見なし。
1. 基本構想策定の背景		
1) 基本構想とは	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想は「区の計画体系上の最上位に位置する」としているが、区が最高規範としている自治基本条例との整合性がないのでは。 	<p>答申案の内容に関わらないものであり、意見として何う扱いとする。</p> <p>なお、基本構想の定義等は、改正後の自治基本条例第14条第1項で規定済みであり、意見のような整合性の問題はない。</p>
2) 今後10年を展望した杉並区の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)について、少子化・高齢化の進展による課題が書かれていない。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化・高齢化の課題は明確に示している。 パブコメ意見によらない修正として、以下の修正を図ることとする。 ・「<u>団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる</u>」という部分は、<u>端的な表現とするため、「の後期高齢者」を削除する。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ・(2)について、「杉並区が相対的に埋没」とあるが、中野や三鷹並みの開発を目指すのか。〈他、同趣旨2件〉 ・杉並が埋没しないためにはどうするべきか、まったく方向性が見えない。 ・「このままでは、都市の魅力や活力という面で、杉並区が相対的に埋没していくことが懸念されます」という部分は、偏った見方であるので削除すること。その上で、「みどりが、生態系保全の視点を持たない開発によって壊されていく現状がある」といった内容を盛り込むこと。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、以下の点について修正を図ることとする。</p> <p>・「杉並区が相対的に埋没」という部分は、危機感を示す意味で用いていたが、将来に向けたプラス志向の表現に修正する。</p> <p>なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野や三鷹についてはあくまでも例示であり、ここでは都市の魅力や活力を生み出すことを課題として示しているものである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・(3)について、「さらなる行財政運営の効率化や区立施設の再編整備」が、前区政の延長線上にあるものなら大変不安に思う。 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
2. 基本構想の理念		
基本構想の理念	<ul style="list-style-type: none"> ・理念 について、区民アンケートで「犯罪の少ないまちづくり」への関心が高かったとあるが、構想の中で、このことに関する言及が不足しているように思う。 ・理念 にある「質の高い住宅都市杉並に向けたまちづくり」と、目標2の「取組みの基本的方向」(2)の「魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり」は矛盾する。 ・理念 について、支えあう地域社会が必要なことは当然。少子高齢化にどう対応するのが問題。 ・「支えあい」も大事だが、大震災を体験し、国、県、都、区は何をしているのかと怒りを感じる。 ・今必要な理念は、基本的人権としての生存権を保障することが自治体の最重要の責務であることを明確にすること。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちに暮らすことは、生活や産業などを含めて総体的に捉えるべきものであり、「質の高い住宅都市に向けたまちづくり」と「魅力的でにぎわいのあるまちづくり」は矛盾するものではない。 ・理念の文章としては、特に修正する必要はない。
3. 私たちが目指す10年後の杉並		
1) 将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像には、福祉や文化の語句を書き込む必要がある。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像は、3つ理念を踏まえてまとめたものである。 ・福祉や文化に関しては、目標4・目標5の中に盛り込まれている。
2) 5つの目標	<ul style="list-style-type: none"> ・5つの目標が達成されれば大変結構なこと。〈他、同趣旨2件〉 ・5つの目標をどう実現するかが問題。 ・5つの目標のうち、1つでも「日本一」を目指してほしい。 ・東日本大震災の教訓から、目標1に安全・安心を掲げることは賛成。 ・福祉、教育に関わる目標の順位を先にすべき。〈他、同趣旨2件〉 ・目標4は「福祉と健康を支えるまち」に変更してほしい。 ・平和と文化についても別に目標を立ててほしい。〈他、同趣旨1件〉 ・5つの目標は、現場で働く人たちの意見や専門家の意見が反映されているとは思えない。 ・「参加と協働による地域社会づくり」は、「基本構想実現のために」という位置付けではなく、目標の1つに掲げるべき。 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p> <p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの目標は、基本構想の理念に沿って順序立てている。 ・平和や文化に関しては、目標5の「取組みの基本的な方向」に盛り込まれている。
4. 取組の基本的な方向		
1) 目標 1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの基本的な方向」(1)について、3.11を受けて、安全・安心に暮らせるまちを目指すことは理解できる。 ・開発や狭あい道路の拡幅や車優先のまちづくりが即災害に強いまちづくりにはならず、各地域に公園やオープンスペースの確保が先決である。 ・建築物の耐震化は個人住宅建替えの費用を助成するのか。アパート・マンションへの取組みはどうか。〈他、同趣旨1件〉 ・耐震化は費用が高いため、具体的な支援をしてほしい。 ・狭あい道路の拡幅整備やオープンスペースの確保はどのように進めるのか。 ・平成17年の集中豪雨を踏まえ、上流部の治水対策を急いでもらいたい。 ・マグニチュード9～10を想定した防災計画が必要。 ・「取組みの基本的な方向」(2)について、災害時要援護者などへの災害時対応には、町会・自治会の強化が必要。 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの基本的な方向」(3)について、地域の絆づくりが重視されているが、孤立する自由を保障する観点から、個人の言論・行動の自由を尊重し、これを阻害しないことを明記すること。 ・大震災を受けて、地域住民の「絆、支えあい」などが見直されたことはよかった。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人の自由の尊重」は当然のことと受け止めており、あえて基本構想に記載を要するものではない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「戦略的・重点的な取組み」の1点目について、広域幹線道路は災害時に役立つとは考えられない。 ・外環道の推進には反対。〈他、同趣旨5件〉 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
<p>2)目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの基本的な方向」(1)について、中杉通りの南進は区民にとって大きな関心事であり、住民の利益にもつながる開発を。 ・都市計画道路の整備は、住民の意向を大切に、街並みと調和した整備を要望する。 ・都市計画道路補助227号線の計画は廃止すること。 ・都市計画道路補助215号線については、立ち退きを含め、住民の生活に多大な影響を及ぼす。 ・誰もが移動しやすいまちとは、高架がなければ向こう側に渡れない道路をつくるのではなく、バリアフリーが完備したまちである。 ・歩道上の放置自転車や歩行者を無視した自転車走行への対策を進めてほしい。自転車と歩行者が共存するための道路整備が必要。〈他、同趣旨1件〉 ・バスの運行数が少ない高円寺駅～高円寺陸橋間・阿佐ヶ谷～荻窪間について、運行数の改善や「すぎ丸」での代替措置を要望する。 ・電線の地中化を進めてほしい。 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザイン」は、注釈を入れてわかりやすく説明すべき。またどのようにそれを実現していくのか、区民等がどうかかわっていくのかを説明すべき。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、以下の点について修正を図ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサルデザイン」について、括弧書きで説明を加える。なお、具体的な取組みについては、区が計画等で明らかにすべきものである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの基本的な方向」(2)について、駅前周辺を大型店中心のまちにしてはならない。駅前大型開発をしないとまちの活力がなくなるものではない。〈他、同趣旨2件〉 ・駅前周辺を、高齢者にとって安全・安心なまちにしてほしい。 ・「にぎわい」より、「閑静な街」を是とする人も多い。〈他、同趣旨1件〉 ・建物優先でゼネコンを儲けさせる区政とならないように。 ・まちづくりは特定地区のみならず、公平に地元の意見を尊重して推進すべき。 ・西荻、荻窪、阿佐谷、高円寺は、中央線文化のへそであり、観光都市としても面白いまち。 ・荻窪駅南口にある各文化施設の接道等の改善をしてほしい。 ・箱モノや駅前開発は消費の活性化につながらない。画一化した駅前再開発は、まちの魅力を失う。〈他、同趣旨1件〉 ・落ち着いたある住宅街と魅力ある商店街づくりを目指してほしい。 ・消費者問題への目配りが無い。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちに暮らすことは、生活や産業などを含めて総合的に捉えるべきものであり、住環境との調和を図りながら、いかに都市の魅力や活力を生み出していくのかが、これからの課題と言える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流や活性化の面から、個人商店・商店街への支援を継続してほしい。〈他、同趣旨1件〉 ・地域活性化の観点からファンドをつくり、富裕層の投資(支援)を得て区が発展するような仕組みが創設できないか。 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの基本的な方向」(3)について、「医療・福祉」を産業と捉えるのはいかがか。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内には医療・福祉関連のサービス提供事業者が増えている実態がある。高齢化の進展等の中で、これらのサービスの充実が求められている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・活力あるまちづくりのためには、現役世代や若者の仕事や活動の場を拡げることが必要。〈他、同趣旨1件〉 ・中小零細企業支援や若者の低収入・不安定就労是正などの「貧困と格差」の解消のため、区として国や都に積極的に働きかけるべき。 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの基本的な方向」の中に、深夜・早朝のサイレン音の自粛など「静かな街、杉並」という趣旨を加えてもらいたい。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。</p> <p>パブコメ意見によらない修正として、以下の修正を図ることとする。</p> <p>・「取組みの基本的な方向」(4)の表題と文章にある「住環境と調和した土地利用を図る」という表現について、目標2に即して、よりわかりやすい表現にする観点から、標題は「住環境と調和したまちづくりを進める」に、文章は「魅力的なまちづくりを進めます」に修正する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「戦略的・重点的な取組み」について、南北分断の解消や都市機能の強化を図るために荻窪駅周辺まちづくりを進めることはよいが、重点の置き方という点で、第一に「多心型まちづくり」を記述すべき。 ・荻窪は、JR と地下鉄の結合点で、杉並の中央にあり、青梅街道にも面した杉並区のセンター的なところである。区を中心にふさわしい機能の集積と文化的で魅力あるまちとして、高齢者も若者も、そして障がいのある方も気軽に集える、そのようなまちづくりをお願いしたい。〈他、同趣旨2件〉 ・荻窪駅北口駅前広場が完成し、前より広く使いやすくなったが、まだまだ発展途上。北口周辺は、近隣の吉祥寺や中野に匹敵する魅力あるまちづくりを進めて欲しい。 ・荻窪駅周辺まちづくりでは、駅の東側を架橋する再開発事業を敢行すべき。 ・荻窪の再開発そのものには反対しないが、地元の商店や住民のための開発であるべき。〈他、同趣旨2件〉 ・具体的な開発案件である荻窪駅周辺まちづくりに関する記述を削除すること。荻窪を再開発することには賛成できない。〈他、同趣旨21件〉 ・荻窪駅周辺は今の住環境を維持すべきで、用途地域の変更は必要ない。 ・荻窪駅南側の地域は、今のままの住環境を守ってほしい。〈他、同趣旨15件〉 ・荻窪駅周辺を杉並の「顔」にするとのことだが、多心型まちづくりと矛盾するのでは。 ・杉並の「顔」とは、どこに向けてのものなのか。 ・荻窪駅前は車両進入禁止とし、駅前広場に古き美しい杉並を再現すること。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <p>・「荻窪駅周辺まちづくり」については、第1部会で多くの意見が出され、このようにまとめたもの。実際には、再開発で大きなビルが沢山建つようなことにはならないと考えており、「多心型まちづくり」の一環として問題提起することは必要である。</p> <p>・荻窪については、再開発以前の問題として、高齢者や障害者等が鉄道から安全にバスやタクシーに乗り換えやすい広場空間が必要である。</p> <p>・「荻窪駅周辺まちづくり」の今後のあり方については、地元住民等の意見を聴きながら具体化していくべきものである。</p>
<p>3) 目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組みの基本的な方向」(1)について、再生可能エネルギーの活用は、区政レベルでは対応が難しいのではないかと。 ・再生可能エネルギーの活用は積極的に進めてほしい。〈他、同趣旨2件〉 ・「取組みの基本的な方向」(2)について、「区内3河川を水とみどりの基幹軸として、人と生物の生態系を創る」を加えること。 ・「みどりのネットワークづくり」については、定期的な自然環境調査を実施し、生態系保全の観点から実施するように盛り込むこと。〈他、同趣旨2件〉 ・「みどりのネットワークづくり」の方策や効果がよくわからない。また、景観計画などとの関係はどうなるのか。 ・質の高い住宅都市の実現には、みどり豊かな住環境を守ることが大切。〈他、同趣旨1件〉 ・水辺環境に限らず、多様な生物が生育できる環境は重要。 ・答申案には、危機的な水辺環境やみどりの減少に対して改善していこうとする考えが見えない。 ・東京電力総合グランドを都市計画公園化することは、防災・避難という側面からも大変有意義。 ・三井グランドでは、貴重なオープンスペースが潰された。 ・屋敷林の保全は、税法等の壁があるため、杉並区だけの問題ではないはず。また、みどりの創出・保全には、敷地面積の最低限度規制の見直しも必要。〈他、同趣旨2件〉 ・貴重なみどりの森や屋敷林が失われていくことに心を痛めている。 ・世田谷区農地保全方針を参考に、農地を活かしたまちづくりを進めてほしい。また、練馬区の体験農園も参考にしてほしい。 ・建物周辺に可能な限りみどりを植えることを奨励してほしい。〈他、同趣旨1件〉 ・「取組みの基本的な方向」(3)について、フリーマーケットの機会の充実を求める。 ・環八雲などの健康被害にも及ぶ環境問題に対する区の実践が非常に弱い。 	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p> <p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <p>・「みどりのネットワークづくり」の方策や効果などは、区が今後の計画の中で具体化していくべきものである。</p> <p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>

<p>4) 目標4 健康長寿と支えあいのまち</p>	<p>・最初の四角で困った記述を削除するとともに、以下のとおり、重要な項目順に入れ替える等の修正をしてほしい。</p> <p>(10年後の姿)</p> <p>支援が必要な人に対する福祉の仕組みが整ってきている</p> <p>いきいきと生活できる環境や仕組みが整ってきている</p> <p>健康長寿を支える取組みが進んでいる</p> <p>(取組みの基本的な方向)</p> <p>(1) 地域で安心して生活できる仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に対する施策を推進・充実させます。(追加) ・在宅介護者を支援する仕組みを充実させます。(追加) <p>(2) 社会参加をすすめる仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者の社会参加や就労機会の拡大に努めます。(修正) ・必要な情報を容易に入手できる仕組みを構築します。(修正) <p>(3) 健康でいきいきと暮らせる仕組みを整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健診などを通して、一人ひとりの健康管理・健康増進につなげ、関係機関との調整を図り、地域医療体制を充実させます。(修正) <p>(戦略的・重点的な取組み)</p> <p>安心の在宅生活を支える医療・介護基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中の「地域ぐるみで支える」を削除 <p>地域で孤立することのない仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で孤立せずに生活できるように、実情把握と情報提供を推進する仕組みを充実させます。(修正) 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉について議論した第2部会では、全国的に見て杉並区のサービス水準が総体的に高い実態にあることを踏まえ、基盤づくりとしての健康長寿を支える仕組みづくりを1つ目に掲げている。こうした状況認識が異なっている。 ・そうした認識から、答申案では、全体的なことから個別なことを記載するという順序で取組みの方向を示しており、このままでよい。
	<p>・「10年後の姿」に福祉の基盤整備を加えるべき。</p> <p>・「取組みの基本的な方向」(1)について、健康長寿を全うするためには、安心できる医療体制が大切。</p> <p>・医療は生存権を具体化した社会保障と位置付け、医療と福祉の両面から地域医療体制の充実を図るという考えで取り組んでほしい。</p> <p>・区内の医療体制を充実すべき。総合病院が必要。＜他、同趣旨2件＞</p> <p>・放射能汚染対策についても盛り込むべき。＜他、同趣旨6件＞</p>	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
	<p>・「取組みの基本的な方向」(2)について、自殺や孤独死をなくす居場所づくりなどの対応を求める。＜他、同趣旨1件＞</p> <p>・「孤立の防止」の部分に、「行政による実態把握」を加えること。また、貧困問題、母子福祉、児童福祉を加筆すること。</p> <p>・高齢者が気軽に集まれる場所を多くつくってほしい。＜他、同趣旨1件＞</p>	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、以下の点について修正を図ることとする。</p> <p>・「放射能対策」については、「10年後を展望した杉並区の抱える課題」(4)でも言及しており、「取組みの基本的な方向」(1)に追記する。</p>
	<p>・「取組みの基本的な方向」(2)について、自殺や孤独死をなくす居場所づくりなどの対応を求める。＜他、同趣旨1件＞</p> <p>・「孤立の防止」の部分に、「行政による実態把握」を加えること。また、貧困問題、母子福祉、児童福祉を加筆すること。</p> <p>・高齢者が気軽に集まれる場所を多くつくってほしい。＜他、同趣旨1件＞</p>	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「貧困問題」への取組みについては、「取組みの基本的な方向」(3)の3つ目の項目で読み取ることができる。
	<p>・高齢者のライフエリアである500～700m以内に、医療・福祉・公共施設を一体に整備すべき。</p> <p>・敬老会館(現ゆうゆう館)で実施していた、手芸や体操を職員と共に行う事業を復活させてほしい。</p>	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
	<p>・「取組みの基本的な方向」(3)について、特別養護老人ホームの整備充実が必要。＜他、同趣旨8件＞</p> <p>・高齢者が安心して住み続けられるためには、低家賃公営住宅、高齢者グループホーム等の整備が必要。＜他、同趣旨2件＞</p> <p>・「質の高い介護・福祉サービス」には、それに携わる人の報酬アップが先決。</p> <p>・介護保険の在宅サービス時間の短縮はしないでほしい。</p>	<p>今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。</p>
	<p>・「取組みの基本的な方向」の中に、高齢者を敬う古来の美風を喚起するとともに、高齢者の知識・経験を社会資源として活用する旨を追加すること。＜他、同趣旨1件＞</p> <p>・「戦略的・重点的な取組み」の方向性はよいが、もっと踏み込んだ内容がほしい。</p>	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組み内容については、区が計画等の中で具体化すべきものである。

5)目標5 人を育み共につながる心豊かなまち	・「子ども」については、「子供」と表記すべき。＜他、同趣旨4件＞	答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。 ・国の施策上の表記を見ても、「子ども」という表記は間違っているものではなく、これまでの議論を踏まえて「子ども」とする。
	・子どもの権利条約に基づき、あらゆる施策に「子どもの声を聞く」回路を設けること。	今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。
	・「取組みの基本的な方向」(1)について、子育ては家庭が第一義的役割を果たすことを前面に出してほしい。	答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。 ・「取組みの基本的な方向」(1)の1つ目の項目では、子育ては家庭が第一義的に担うことを前提としつつ、子育てをめぐる環境が変化の中で、地域で支えあう仕組みづくりを進めるとしている。 パブコメ意見によらない修正として、以下の修正を図ることとする。 ・「取組みの基本的な方向」(1)にある「地域で子育て・子育てを支えあう仕組みづくり」という表現について、表題と整合した、よりわかりやすい表現にする観点から、「子どもの育ちと子育てを地域で支えあう仕組みづくり」に修正する。
	・「幼保一体化」の具体像が不明確。 ・子どもたちへの施策として、児童館・学童クラブについて触れていないのは理解できない。	
	・保育園の充実は何よりも優先して対応すべき。＜他、同趣旨5件＞ ・職住接近政策、保育施設拡充など、働きながら子育てできる住宅都市を目指すこと。 ・認可保育園の増設を求める。幼保一体化には反対。＜他、同趣旨10件＞ ・幼稚園の子供園化は、建物の老朽や構造、費用対効果も考えて新・増設を。	
	・「取組みの基本的な方向」(2)について、質の高い学校教育のためには機会の平等を重視すべきであり、能力別のクラス分けや学校のランク付けも必要。 ・小中一貫教育には反対。＜他、同趣旨3件＞ ・既に失敗が明確な小中一体型の一貫校は計画しないこと。 ・1クラスの人数を30人以下に減らすべき。＜他、同趣旨1件＞ ・義務教育期間中から、相手を思いやる心を持った人間教育が必要。 ・「教育SAT」などの有効でない施策は廃止すること。済美養護学校や南伊豆健康学園の充実を。情緒障害学級の増設と通常学級での発達障害支援を強化すること。また、教師が子どもと十分触れあえる時間を確保すること。 ・ユニークでレベルな教育を進めてほしい。 ・入学式・卒業式の「日の丸、君が代」の強制に反対。	
	・「取組みの基本的な方向」(3)について、学校が地域の人たちとコミュニケーションを図り、教育現場の情報を共有することが必要。 ・子どもの立場に立って学区域を守ることが大切。地域コミュニティの形成に反する学校選択制には反対。＜他、同趣旨6件＞	
	・「取組みの基本的な方向」(4)について、「日本の伝統と文化への理解を深め、」という記述は、「多様な文化」に含まれ重複するので削除すること。	答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。 ・文化や平和に関しては、これまでの議論を踏まえて、「取組みの基本的な方向」の中に盛り込まれている。
	・「取組みの基本的な方向」(4)について、自国の文化を育む取組みについて、より積極的に記述すること。 ・学校教育を終えた後の社会教育の重要性から、生涯学習に「図書館の充実」を入れてほしい。 ・「取組みの基本的な方向」(4)について、杉並区は原水爆禁止運動発祥の地であることを忘れてはならない。＜他、同趣旨2件＞ ・答申案には、杉並の伝統と平和への熱意が欠けている。	
	・「取組みの基本的な方向」(4)について、「ワークライフバランス」は、注釈を入れてわかりやすく説明すべき。 ・男女共同参画はたった2行で片付けられる簡単な問題ではない。働く場における男女平等参画の促進を位置付けること。＜他、同趣旨1件＞	

	<ul style="list-style-type: none"> ・区の審議会等の構成員の2分の1以上を女性にすること。また、女性管理職も目標を定めて登用を図ることが必要。 <他、同趣旨1件> ・男女共同参画に関する学校教育の充実を図ること。 	今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「戦略的・重点的な取組み」の方向性はよいが、内容が具体的ではない。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組みの内容については、区が計画等の中で具体化すべきものである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定にあたっては、こどもの実態と学校が抱える困難を十分把握すること。また、学校の自主性と主体性を尊重すること。 ・旧荻窪小学校跡地は避難地として貴重であり、ここに地域体育館をつくることは反対。<他、同趣旨1件> ・図書館の書籍、CDを充実してほしい。学校、幼稚園は地域の中心になるので、予算の充実と防災拠点となるようにしてほしい。 	今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。
5. 基本構想を実現するために		
1) 参加と協働による地域社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・会社員やアルバイトなどの賃金労働者の意見を反映する仕組みを設けることを明記すること。 ・協働が行政の責任放棄にならないようにしてほしい。安易にNPO等に行政の下請けを担わせてはいけない。<他、同趣旨3件> ・絆、支えあい、区民との協働は大切であるが、併せて区のサービスを充実すべき。<他、同趣旨2件> ・住民参加型の街の管理として、7つの地域で「地域会」を立ち上げ、公園や学校の清掃・管理などをしてもらおうとよい。 ・インターネットなどのICTを活用できない区民も多く、ICTの活用により情報格差が生まれないようにすべき。 	今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。
2) 持続可能な行財政運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の実現に向けて、役所自体の役割や体質も変わっていく必要があり、それも示してほしい。 	<p>答申案の内容に関わる意見として議論した結果、修正は行わないこととする。なお、主に以下の議論があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(2) 創造的で効率的な自治体経営」の中で、「組織横断的な取組みに努める」ことについても触れている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用のためにも、住民サービスのためにも職員を増やすように。 ・民間委託＝企業奉仕、住民無視の区政であってはならない。 ・行財政改革の推進が必要。増税はしてほしくない。 ・区立保育園の民間委託はやめるべき。 ・学童保育の民営化をやめ、区の責任で充実を図るべき。 ・「区立施設の再編整備」について、身近な施設が必要であり、区民が不便にならないようにしてほしい。<他、同趣旨2件> ・遊休の国有地を活用するなどして、大学や各種学校の誘致、芸術やスポーツの拠点施設を整備するとよい。 ・区民が趣味・教養・健康のために手軽に利用できる施設を、徒歩圏内に多数つくってほしい。 ・学校など子どもたちのための施設は、単純に減らすべきではない。防災の観点からも、学校施設を残し、密集市街地に空間を確保しておくことが必要。 ・駅周辺に集中することなく、バランスよく施設が配置できるとよい。 ・高齢者のグループホームや公立保育園、低家賃の区営住宅の建設や家賃補助などを進めてほしい。<他、同趣旨2件> ・新しく箱モノをつくるのがよいとは思わない。不必要な施設の再編などに税金を使わないでほしい。<他、同趣旨1件> ・廃校等の跡地を地域に開放したり、災害時の避難所に活用してほしい。 ・「隣接区市との連携・協力」について、すぎ丸の拡大など具体的に進めてほしい。<他、同趣旨1件> ・隣接区市などの他自治体や都・国との連携・協力はぜひ進めてほしい。 ・国や都に区民の要求をはっきり言える自治体になってほしい。 	今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。
3) 区民と共に実現する基本構想	<ul style="list-style-type: none"> ・1年ごとに進捗を検証する仕組みができていないのは問題。 	今後の区の具体的な取組みに関わる意見として、区に伝える扱いとする。